

2021年12月7日

麻酔科医の JALA 講習会の変更ー標榜医が対象ー

公益社団法人日本麻酔科学会
理事長 山蔭 道明

無痛分娩に関連した死亡事故を契機として、2017（平成 29）年に厚生労働省科学研究費補助を基盤とする無痛分娩関係学会・団体連絡協議会（JALA）が設立されました。当学会も構成団体として参画し、麻酔科医はカテゴリーB「産科麻酔に関連した病態への対応のための講習会」およびカテゴリーC「救急蘇生コース」の定期的受講が設定されました。

しかしながら当学会教育ガイドラインにも無痛分娩は存在し、麻酔科認定医・専門医・指導医は多様な領域における麻酔および安全管理の修練を積んで、すでに幅広く対応しています。そのため、麻酔科医の JALA におけるさらなる受講は現状の研修体制と整合しないという問題が指摘されました。

私が理事長に就任後、関係者および厚生労働省を含む関係機関と協議を重ね、2021年12月1日に開催された JALA 総会において、麻酔科認定医・専門医・指導医はカテゴリーBおよびCの受講対象から外すことが全会一致で承認されました。今後は「麻酔科標榜医の資格のみ、もしくは、資格を持たない麻酔科医」が JALA 講習会の受講対象となります（表）。麻酔科専門プログラムの専攻医は、上記資格の有無と各施設の診療体制に応じて受講を考慮してください。なお、麻酔科医が無痛分娩管理者となる場合は、カテゴリーAの受講が推奨される点に変更はありません。

本決定により、麻酔科医は他団体における講習会受講の有無を気にせず、無痛分娩/麻酔分娩に関わることができます。一方、妊産婦と家族、産科医・助産師などの医療スタッフからは、麻酔に関する安全管理を担う存在として再認識され、私たちの責任が増すことにもなります。安全性のみならず質の高い医療を提供できるように、関連学会と連携して専門講習会等を充実させて参ります。会員諸氏がすべての領域で基本的な安全管理とチーム医療を学び続け、医療スタッフおよび国民から信頼される存在として研鑽を続けられますようお願い申し上げます。

以 上

【参考資料】 JALA：無痛分娩の安全な診療のための講習会

(2021年12月1日 JALA 総会承認版)

カテゴリー		A	B	C	D
講習会の内容		安全な産科麻酔の実施と安全管理に関する最新の知識の修得及び技術の向上のための講習会	産科麻酔に関連した病態への対応のための講習会	救急蘇生コース	安全な産科麻酔実施のための最新の知識を修得し、ケアの向上をはかるための講習会
無痛分娩麻酔管理者	産婦人科専門医	●	●	○	
	麻酔科専門医	●			
麻酔担当医	麻酔科専門医				
	麻酔科認定医				
	麻酔科標榜医		●	●	
	産婦人科専門医	●	●	●	
無痛分娩研修終了 助産師・看護師				○	●
JALA 認定の相当するコース		<u>JALA 主催コース</u>	J-CIMELS 「硬膜外鎮痛急変対応コース」	J-CIMELS ベーシックコース, PC3, ACLS, ICLS	<u>JALA 主催コース</u>